

令和6年度 研究授業
美術科 学習指導案

令和6年10月3日(木) 2校時

【授業者】 村上 順子

【単元】【マークのデザイン】「第五中学校のマークを考えよう」

【学年・組】 1年2組

【場所】 美術室

三原市立第五中学校

1年2組 美術科学習指導案

【指導者】 村上 順子【マークのデザイン】「第五中学校のマークを考えよう」

題材観について

本題材「みつめ、感じ取り、描く」について中学校学習指導要領解説美術では〔思考力、判断力、表現力等〕「A 表現・(ア)」および〔知識・技能〕「A 技能・(ア)」に次のように記されている。

A 表現・(ア) 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

A 技能・(ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。

本題材は、身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、材料用具を工夫して描くことを目標としている。「第五中学校のマークをデザインする」事で、生徒一人一人が本校の一員として、学校を牽引する自覚をもち、自らが強くあらわしたいことを心の中に思い描き、所属者としての自分の思いや願い、本校の良さや美しさなどを取り入れながら心豊かに表現する構想を練ることをねらいとしている。また、様々な行事や学習活動を、美術科としての造形的な見方考え方をもちこたせることで、造形的な視点をもって構成や配色など創意工夫して「創造的に考えを巡らせ自ら主題を生み出す力」を育成する。

生徒観について

本学級の生徒は、おおむね意欲的に美術の学習に取り組んでいるが、学習内容の定着には学級内で大きな個人差が見られる。基本の知識・技能として、デッサンを学習し、立体表現は身についたが、色や形の単純化による表現の工夫は十分とは言えない。本学級の生徒に事前に行ったアンケート（令和6年9月21日実施36名回答）では、「色相環の補色の知識や形の単純化の方法を使用してデザインを工夫できる。」の問いに対する解答のうち「配色の計画と形の単純化のデザインができる」の回答の割合は51.6%、「色によってはできる」の回答の割合は48.4%「できない」の回答の割合は0%であった。この結果からも、約半数の生徒が、約半数の生徒が色や形の単純化による表現の工夫が十分に出来てないことが分かる。また、ICTを活用した写真撮影や編集作業に積極的に参加しているため、作品の撮影画像を活用し使用することができる。

指導観について

指導に当たっては、「**あらわしたいマークのデザインに応じて補色などの配色を選び効果的に表現するにはどうしたらいいだろう。**」という題材を貫く問いを設定し、見たものの形を捉えてそのまま描くだけでなく、形の単純化や補色や同系色などの効果的な色彩の組み合わせにより、イメージや雰囲気などをわかりやすい形で論理的に表現できる力を養いたい。形を描く場合は、円形や正方形の形の中にデザイン化することで、伝えたいイメージ画像を単純化してシンボルマークをわかりやすく伝える活動を取り入れていく。また、ICTを活用して撮影を行い資料とすることで、拡大したり、比較したりして、形や色の変化をとらえやすくし、対象を「みつめ、感じ取り、描くこと」ができようにする。

デザインや彩色についてより具体的に検討できるように、クロームブックを用いて自身の作品の編成をポートフォリオさせる為に、デザインを撮影させ、客観的に観察させる。自分の持っているイメージを単純化した形にデザインし、わかりやすく効果的に伝わるように構想をさせる。また、「広島県章」や「三原市章」のデザインの例題により、形の単純化のポイントを整理し、色彩を選択する意図を前もつ

て抑えておくことで、色相環の補色の組み合わせの効果的な使用や背景に組み合わせる色と、文字や画像の配色の効果など今後のデザインに生かせるよう、思考力・判断力・表現力を身に付けさせたい。

今後の展望としては、文化祭などのしおりにシンボルマークとして掲載するなどの方法で発信できるようにして創造した物を自分だけでなく他者からも新しい価値をつくり出し、見方、感じ方が広げられるようにさせたい。

題材の目標

【ア.知識・技能】・形の単純化を理解し、イメージした形をわかりやすくあらわすことができる。

【イ.思考力・判断力・表現力】・色彩による印象の表現を、補色や同系色を使用して、表現方法を工夫して、構想しあらわすことができる。

【ウ.主体的に学習に取り組む態度】・自分の考えやイメージを明確に伝えるためにICTを活用してポートフォリオし、構想して、あらわしたい形や色に応じて色を組み合わせ、補色や同系色の技法の説明をし、積極的に伝えようとしている。

指導と評価の計画

(1) 題材の評価規準

観点	ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①形を分かりやすく伝えるために、円形や四角形の中に単純化してあらわすことを理解している。 ②形をわかりやすく伝えるために色の明度や補色、同系色の知識を生かして描き制作している。	①写真や映像を編集し、それを基に自分の考えやイメージが明確になるように、表現したいデザインに合わせて、色の組み合わせを考えている。 ②写真や映像を編集し、それを基に自分の考えやイメージが明確になるように、表現したいデザインに合わせて、色を選択し、補色や同系色で効果的に描き伝達できるように表現している。	①自分の考えやイメージを明確に伝えるために構想し、あらわしたいデザインに応じて色を組み合わせ、補色や同系色の技法を用いて、積極的に伝えようとしている。 ②自分の制作の材料をICTを活用して、構図を工夫して具体的に描こうとしている。

		<p>1. 前時の確認をする。</p> <p>2. 本時の学習課題の確認</p> <p>3. 第五中学校のマークのデザインをする</p>	<p>○マークのデザインのポイントを整理する例題をいくつか示す。</p> <p>○ICT を活用してスライドの例題を参考にさせる。他校の作品例から、ひらがな・カタカナ・アルファベットから文字を選んでデザイン化すると選びやすい。</p> <p>○「補色」「同系色」などの配色がもたらす効果を確認する。</p>				
<p>めあて：補色や同系色を効果的に使って第五中のマークの配色デザインができる。</p>							
<p>二</p>	<p>2</p>	<p>5・振り返りを行う。</p>	<p>○ワークシートにデザインする。</p> <p>○2つの指示を示してから作業に入らせる。</p> <p>1 図形化した○や□の範囲で表現したいマークのデザインをするように指示する。</p> <p>2 補色や同系色の知識を活用して配色するよう指示する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部がマルからはみ出てもいいですか？ ・文字だけじゃなく風景を取り入れていいですか？ ・補色に近い組み合わせならす明るい色でもいいですか？ <p>○第五中学校のマークを図形化するために、ひらがな・カタカナ・アルファベットから文字を選んでデザインを単純化させる。</p> <p>○補色や同系色の知識を活用してマークのデザインを配色させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文字をどうやって図形化しデザインにするのか、五中らしさの形が何で表されるかわからない。」 ・「何の色にすればいいのか分からない。」 	<p>○</p>	<p>◎</p>		<p>【ア②】 (ワークシート)</p> <p>【イ①】 (ワークシート)</p>

三	3	1. 本時の学習課題を確認する。	○デザインを撮影しスライドに貼って説明文を考えるよう指示する。					
		めあて：第五中のマークのデザインを撮影し意味を説明できる。						
		2. クロームブックのカメラで自分のマークのデザインを撮影する。	○クロームブックのカメラで自分の「マークのデザイン」を撮影させマイドライブにファイルをアップロードさせる。(全員に手順を示し一斉に行う。) <ul style="list-style-type: none"> ・「第五中」の文字だけ撮影していいですか？」 ・「色が決まってない箇所があってもいいですか？」 				【イ②】 ワークシート (Google スライド)	
		3. スライドに自分のマークのデザインを合成し説明文を考える。 作品の工夫点をスピーカーノートに記入する	○グーグルスライドで、撮影した「マークのデザイン」を合成させる。 ○あらかじめ見本を見せる。 クロームブックのグーグルスライドに貼れたら作品の工夫点をスピーカーノートに記入する。			◎ ○		
4. 2つの観点で説明文を考える	○2つの観点で説明文を考えさせる。							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1 第五中学校のマークを図形化するために、文字を単純化してデザインできたか。 2 マークのデザインを効果的に表現するために補色や同系色の知識を活用して配色できたか。 </div>								
振り返り 自分の構想したマークを描くために、どのように形を単純化して色の組み合わせを効果的に表現出来たか振り返ろう。								
			○自分の構想したマークを描くために、どのように形を単純化して色の組み合わせを効果的に表現出来たか次の2点で振り返らせる。 1 自分の文字のデザインはどのように単純化してあるか。 2 選んだ配色で、あらわしたいデザインを効果的に描けているか。			【ウ②】		

四
(本時)

4

1. 前時の確認をする。

○県章や市章からマークのデザインに込められた意味を考えて、第五中学校のマークを発想してきたことを確認する

めあて：あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表現するにはどうしたらいいか説明し改善案を考えることができる。

2. クラスルームのスライドに貼った作品を見せ合い説明する。

○グーグルスライドで自分の「マークのデザイン」の工夫点をペアで説明しあう。
○次の2つの観点で説明をするよう指示する。

1 第五中学校のマークを図形化するために、文字を単純化してデザインできたか。
2 マークのデザインを効果的に表現するために補色や同系色の知識を活用して配色できたか。

○良い点をピンクの付箋で改善点を水色の付箋で渡し合うよう指示する。

3. 他者の作品を鑑賞する。教員が実物投影機で披露する。

○全員で作品鑑賞し、他者の使用した色や表現から作品の良さや意図を読み取らせる

- ・○(丸)を利用して文字を曲線で書いている
- ・五中のマスコットのつなぐ君を合成してある
- ・赤と青みどりで補色にして目立たせている

4. 他者の作品の工夫点を参考に自分の作品の改善点をスライドのスピーカーノートに記入する。

○作品の工夫点をスピーカーノートに記入した下段に改善点を入力させる(付箋を参考にする)
○次の2つの観点で改善をさせる。

1 図形化するために、文字を単純化してデザインできたか。
2 マークのデザインを効果的に表現するために補色や同系色の知識を活用して配色できたか。

5. 振り返りを行う。

○上記の2つの観点でどう改善するか振り返らせる。

○ ◎

【イ②】
ワークシート
(Google スライド)

【ウ②】
(振り返りシート)

五	5	1. 前時の確認をする。	○ゲーグルスライドで自分の「マークのデザイン」の改善点を確認させる。					
		めあて：あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表現できる。						
		2. 第五中学校のマークのデザインを清書する。	○清書尾用紙に清書をさせる。 ○2つの指示を示して作業に入らせる。					【ア①②】 清書用紙
		3. 振り返りを行う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 改善した部分をふまえて、図形化した○や□の範囲で表現したいマークのデザインをする。</p> <p>2 補色や同系色の知識を活用して配色する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「色の組み合わせを変更したら補色に近い別の色が似あうと気が付いた。」 ・「文字のバランスを修正で丸に沿わせ直した。」 ・「同系色の組み合わせならす明るい色でもいいですか？」 <p>○次の2観点で振り返るよう指示する。</p>	◎		○	【ウ①】 (振り返りシート)	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 第五中学校のマークをひとめでわかるように図形化するために、ひらがな・カタカナ・アルファベットから文字を選んで単純化して作画できたか。</p> <p>2 補色や同系色の知識を活用してマークのデザインを配色できたか。</p> </div>					

本時の学習

(1) 本時の目標

○マークのデザイン表現に必要な技法、**単純化**の知識を活用し、自己があらわしたいマークデザインの意図を踏まえて、色を選択し、補色・同系色などの組み合わせを考えて制作し、効果的に構想を、図画として伝えるために改善点を思考し表現できる。 【思考・判断・表現】

○あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表現するにはどうしたらいいか説明し改善できる。

○自分の考えやイメージを明確に伝えるために構想をし、あらわしたいデザインに応じて色を組み合わせ、補色や同系色の技法を用いて、積極的に伝えようとしている。【ウ. 主体的に学習に取り組む態度】

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される生徒の反応 (・)	評価規準 (評価方法) 支援を要する生徒への 支援 (◆)
1 題材全体の流れを確認する。【5分】		
1. 前時の確認をする。 ICTの活用① モニターを使って前時の確認整理をする。	○県章や市章からマークのデザインに込められた意味を考えて、第五中学校のマークを発想してきたことを確認する	◆スライドで県章や三原市章を確認し、第五中学校のマークを発想してきたことを確認する。一目で解るようにする。 ◆単純化・補色・同系色などの技法種を確認させる。
2 本時のめあてを確認し、課題を発見・共有する。【5分】		
めあて：あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表現するにはどうしたらいいか説明し改善案を考えることができる。		
整理・分類 2. スライドで作品を見せ合い説明する。 ICTの活用② 学習活動。図形化の為の単純化の方法と色を選択するポイントや手順を整理する。	○グーグルスライドで自分の「マークのデザイン」の工夫点をペアで説明しあう。 ○2つの観点で説明文をする 1 第五中学校のマークを図形化するために、文字を単純化してデザインできたか。 2 マークのデザインを効果的に表現するために補色や同系色の知識を活用して配色できたか。 【支援を必要とする生徒への手立て】 ●マークのデザインのための3つのポイントを再確認させる。 ●デザインのポイントを踏まえて説明するための例を板書で示す。	【イ②】(ワークシート(Google スライド)) ◆マークのデザインのための3つのポイントを再確認させる。 図形化・単純化・補色などの配色の効果。

3. 他者の作品を鑑賞する	<p>○全員で作品鑑賞し、他者の使用した色や表現から作品の良さや意図を読み取らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○を利用して文字を曲線で書いている ・五中のマスコットのつなぐ君を合成してある ・赤と青みどりで補色にして目立たせている 	<p>◆補色の色が解らない場合は教科書を見たり、板書で確認するよう指示する。</p>
---------------	---	--

3 本時の課題解決に向けて考える。【10分】

<p>4. 他者の作品の工夫点を参考に自分の作品の改善点をスライドのスピーカーノートに記入する。</p> <p>5. 振り返りを行う。</p>	<p>○作品の工夫点をノートに記入した下に改善点を入力する</p> <p>○2つの観点で改善をする</p> <p>1 図形化するために、文字を単純化してデザインできたか。</p> <p>2 マークのデザインを効果的に表現するために補色や同系色の知識を活用して配色できたか</p> <p>○上記の2つの観点でどう改善するか R80で振り返らせる。 「気づき」「考えの変化」</p>	<p>ワークシート</p> <p>ICTの活用③</p> <p>クロームブックのスライドで確認しスピーカーノートに記入する。</p> <p>◆板書で確認させる為に一旦全員板書を読ませる。</p> <p>【ウ②】 (振り返りシート)</p>
---	---	---

R80の例

マークのデザインを図形化するために、第五をアルファベットのDと数字の5で描いたが、○の形の中に添うよう単純化し描き改善した。また、色は背景が緑だから、文字は補色の赤を使って目立たせた。

(3) 板書計画

めあて あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表現するにはどうしたらいいか説明し改善案を考えることができる。

授業の流れ

色相環の見本図

●マークのデザインをつくる2つのポイント

- ① 図形化するために、文字を単純化してデザインする
- ② 補色・同系色の技法を活用する

説明の仕方

- ① 図形化するために、文字を単純化してデザインしたポイントは○○です
- ② 補色・同系色を使用して効果的に表現したポイント○○です。

振り返り あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表現するためにどう改善案を考えたらいいか振り返ろう。

(4) 観点別評価規準

イ②写真や映像を編集し、それを基に自分の考えやイメージが明確になるように、表現したいデザインに合わせて、色を選択し、補色や同系色で効果的に描き伝達できるように表現できる。

ウ①自分の考えやイメージを明確に伝えるために構想をし、あらわしたいデザインに応じて色を組み合わせ、補色や同系色の技法を用いて、積極的に伝えようとしている。

[イ ②] [ウ ②]

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手だて (C)
<p>あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表現あらわすため、次の3つのポイントを押さえて(①文字を図形化している①形を単純化している②補色・同系色の技法を効果的に使用している)表現している なおかつ表したいイメージや雰囲気に応じた図や配色を意図をもって選択し、他の作品の良さを参考に改善し、より良い表現を工夫している。</p>	<p>あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表現あらわすため、次の3つのポイント(①文字を図形化している②形を単純化している補色・同系色の技法を効果的に使用している)を理解し、それらのポイントをおさえて表現している。</p>	<p>マークのデザインを効果的にあらわすため次の3つのポイント(①文字を図形化する②形を単純化する③補色・同系色を効果的に使用する)を押さえておらず、形を図形化や単純化、イメージに応じた色を選択できない。</p>
<p>例1</p>	<p>例1 あらわしたいマークのデザインに応じて単純化し補色などの配色を選び効果的に表あらわすための、次の3つポイントを押さえて(①文字を図形化している②形を単純化している③補色・同系色の技法を効果的に使用している)が、表したいイメージや雰囲気に応じた色を意図をもって効果的に組み合わせ彩色している。 ・文字の曲線化 ・○や□の図形に添わせる ・色相環で補色を確認し説明する</p>	<p>例1 手立て マークにしたい文字や色を決めることができず、図形化できていない。 ・マークのデザインの表現に使用する形の単純化を事前に紹介する。 ・ワークシートにマークの例を示し思考しやすくする。 ・ペアで作品紹介をし説明し合う事で思考をまとめる。 ・クラスの、他の人の作品を配色の見本として紹介し、自分の表現したい構想伝えるためには、何色を選択するか、どのように改善するか思考させる。</p>

(5) ICT 活用のポイント

<ICT 活用のポイント>

* 「個人思考の場面でのデザインの再検討の為に形や図形の単純化や色の配色による効果を比較し、説明することを意図してクロームブックを活用した。